

片岡中学校区青少年健全育成推進委員会（群馬県）

群馬県から参りました片岡中学校区青少年健全育成推進委員会会長を務めております松本です。私どもの住む高崎市には、小学校区ごとに公民館があり、地域活動の拠点としての機能を発揮しています。今日は、私の地元小学校区の公民館長をしている田島が私の補佐役として来ています。よろしくをお願いします。



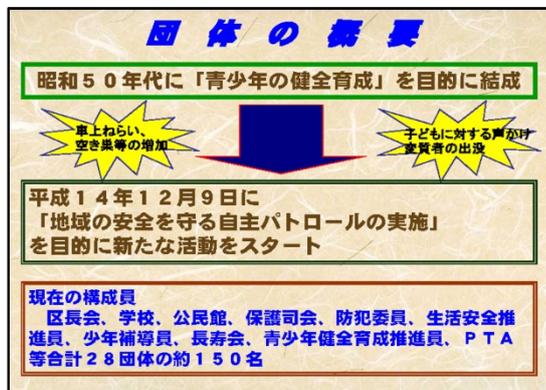
活動地域の紹介

私どもの活動する地域の高崎市は、関東平野の北端に位置する群馬県の南部地区に位置します。高崎市の西部に位置するのが、片岡地区です。

高崎市は上越・長野新幹線、さらに、関越道、北関東道、上信越道と高速道路が縦横に延びています。交通の要衝として人口増を迎えており、流動人口も非常に多くなっている都市です。また、江戸時代には中山道、三国峠の宿場町として大変栄えてきたところです。平成18年以降の大合併により人口37万余の中核市となり、群馬県で一番大きい市になりました。

団体の概要

私どもの団体は、「青少年の健全育成」を目的に昭和55年に組織されました。青少年の健全育成、非



行防止活動を主に行ってききましたが、近年の犯罪の増加傾向を憂慮し、地域住民の身近で発生する車上ねらいや空き巣等の犯罪の被害防止、そして不審者から子どもたちを守るための活動を加えて、「青少年の健全育成と地域の安全を守る自主パトロールの実施」を目的として、平成14年12月9日に新たな活動を展開することになりました。

構成員は、区長会、学校、公民館、保護司会、防犯委員、生活安全推進員、少年補導員、長寿会、青少年

健全育成推進員、PTA、子ども育成会等28団体で、その住民によって構成されています。各団体からの役員150名の皆さんの協力を得て、さらに会員のご協力もいただく中で、住民主導による自主パトロール活動を推進しています。

活動内容、特長

片岡中学校区内には、片岡小学校、乗附小学校と2校あります。高崎市八千代町、乗附町、片岡町、聖石町、石原町の19行政区で、人口は約1万8,500人です。日常の活動としては、毎週月曜日から金曜日までの間、この区域内を昼間の午後3時から5時までの間、夜間の午後7時から9時までの間、パト

ロールを実施するわけですが、特に昼間の時間帯は児童、生徒の見守り活動が中心となり、児童、生徒、学校の安全確保を心がけて活動しています。夜間のパトロールは、主に防犯委員や夜でも活動が可能な団体の皆さんにお願いしています。原則として、防犯パトロールは徒歩で行いますが、時には自転車や自動車でも行います。1日に4班 20 名体制で行い、年間にしますと約 5,000 名近い人に参加いただいていることとなります。



先ほど申し上げたように、私どもの団体は非常に様々な団体が加盟しています。私どもの地域で活動する青色回転灯装備車は4台です。高崎市で、現在約 260 台登録されていることを考えますと、私どもの地域は青色回転灯装備車が少なく、少し寂しいと感じており、これからも増車したいと考えています。

ちなみに、平成 17 年に私も証明書の交付を受けており、今も毎朝登校時、さらには下校時、夜間と時間が取れば1日3回、巡回パトロールをしています。

次に、講習会、研修会についてです。写真は、講習会の状況です。

構成員のスキルアップのために、地元の警察署員、検察庁の検事さん、地元大学の教授を講師としてお招きし、年4回の講習会・研修会を開催しています。講習、講演したいただく内容は、いわゆる青少年非行防止、犯罪予防、防犯パトロールのあり方等です。



次に、啓発活動用品として平成 17 年から毎年、私どもの地域ではのぼり旗を 50 本ずつ新調します。消耗品で、のぼり旗は傷みが激しいものですから毎年作り、それぞれの団体、役員の自宅、通学路等々に掲示していただいております。さらに子どもを守る家、子どもを守る店ということで、通学路中心にご協力をいただき、玄関、店舗出入口にステッカーを掲示してもらい、子どもたちの駆け込み寺ではないですが、駆け込み場所、避難場所というかたちでお願いしています。地区の皆様方にもご理解をいただくために、広報紙等も年に数回発行しています。

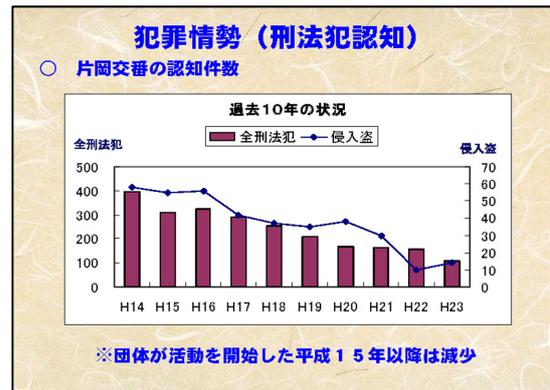


次は街頭パレードです。これは昭和 55 年から毎年1回、10 月に開催しています。子どもたちの健全育成が目的でしたが、犯罪発生等々に鑑み、安全・安心まちづくりの目的も含めてのパレードを実施しています。昨年は雨天で地区内での街頭パレードができなかったため、体育館で開催させていただきました。600 人から 700 人の参加をいただく中で開催させていただいています。



平成 14 年から安全・安心まちづくりを含めた活動を行い、15 年までの 1 年間で、子どもたちの地区の犯罪が大幅に減少したということで、群馬県警察本部長から、感謝状を頂戴しました。そして、平成 21 年 10 月 9 日、安全・安心なまちづくり関係功労による内閣総理大臣表彰ということで、官邸へお招きいただき総理大臣賞を受賞してきました。

活動を通じて私が感じているのは、「継続は力なり、まちづくりは人づくり」ということです。子どもたちの健全育成が防犯の一番の原点であるという考えの下、青少年健全育成に力を入れ、さらには防犯活動へ今後も力を入れていきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



質疑応答

●質問 年に4回ほど地元の警察署のほかに地方検察庁の検事を招いて、青少年の非行防止や防犯パトロールのあり方などについて講習を行っておられるとのことでした。これらの講習を開催して「こういったところは効果的だった」というものが何かあれば、皆さんにご案内いただけますか。

○回答 日々の活動を計画していく上で、講習会、講演会、いわゆる研修会を継続して開催しなければ、防犯意識を維持していくことは難しいと思っております。活動が単発的なものになれば、ややもすると活動自体が消滅してしまいかねません。専門家から現状認識や社会情勢等を把握することで、活動を継続させることが大事だと認識することが必要だと思っております。そういうことで、講演会、研修会はこれからも継続していかねばならないと思っております。私は 55 年から会長ですから、相当数の講師にお願いしておりますが、年に4回、講師を探すのに非常に苦労しているのが現状です。講習会などが効果的なのは、「なぜ活動するのか」という認識、意識を持ってもらうことだと思っております。